紛員十七名も時に国際として行戦の劇館に沿した

河通四少庄。 深田草太郎 **医**语少熟 **医安** 森田 医岛

神治野塔に協力地に南海に改革 

に御親拜 |國神池臨時大祭第1日の廿五

の場合と浴した地上は、

響点なる間間を年し間意象

子廿三名の勝士で特に武殿

殊 想

概合、南部報道議員 「欧を歌石以来記でを分をみ力歌子 に同要総を占領、夫る子自中央突

高が暗図の忠煕に暫しく挙げら

レル道を北邉中の敵自動資道能約で爆磨すると共にインパール、パ

が影響階を火網に捕捉してこれ

ロの要衝ピシエンブール附近で

展開中である

にあはよくばデイマブール方面よ 國内民衆の動揺防止に済めると共一

厚生省、

徵用指定

登表によれば在支米空間は云る计

一便力の仮容者を生ぜらめた

る一般は後より早く田圃で出

州神社に参拝、道殿者、碓井知事

以下道脚幹部職員を接見、特内狀

製法による哺乳動物活性炭製剤

胃腦カタル・腺液質・消化不良其他

選山、海州へ向った、午後二時海

長以下の見送りの狸と、午後一時 仕率隊の分別式をうけ、岩田鑑山

二日北部安南に蒸選、原住民間に

上洞部落民を激勵し

が収録を駆けることが出 外の時は全部语で悪して

けるのを1生の念

際進海州を展図、龍畑里の個民道し、次いで法院より南川に向ひ、 況の報告を受けて一場の訓示をな

文献 東京京橋居西八丁地 東京京橋居西八丁地

下聖鐵山視察

田中總監 黃海道初巡視

に疑惑な痴症支援の下にコヒマを

四六一高地占領

を放行し大道書を建へ会被罪事時

南部上りするわが安慰は敵の億形の大攻然に陥へてゐたが、この間

防御戦に對し漸次包閣器職を欧語 郷約四十キロ、長さ約六十キロの

陸鷲、インパール南飛行場連襲

の地域に選集する欧大軍の城

銀は廿一日夕刻大阪してインバー

ルマ方面陸町急降下爆踏機隊の精

個職軍司令部は廿三日の公報で次

一、米國民間語腔と到ソビニート

一、信款協定に参加した米昭民間、間接税、借款、銀行、僧託などに

ーパー紙はその内容として比較的

を告げるや喧らに滅役復興登材

職」を開く独立と思くられる、曹

間には不満の色濃く廿三日常典紙

数に遊表されたが、これによれば、

英家は殆ど全面的に乗り去られて 今回の通過気は略米案を基礎とし

略に十一提督

等の領を待つてあること辻々に貼って関作業に飲身「動た、前級は我

胃腸。

骨組を丈夫にする

この日も同郷山は全山を駆けて

られた肉太のビラも感激に光つて

行力な監験で、これを指揮一般に加はつた米國際隊は極一

ズきかつたことが想像出外

作業羽場を巡視、倶樂部で少就後 あた、<br />
瀬窟を<br />
連へた<br />
同山では<br />
明石

とによってもこの時候的

お当が十一名と澤

ーシャル優しシスポ

人な数にのぼる

院方面でも不識の

際における日本軍との交戦 月に至る期間にソロモン 群一

に海単が振った軍艦の指害

九四二年八月から一九四三|間を一度村に強した総底は九陸五

十分同所設一路三菱下架搬山と向

全

家

戰

鬭

肥

品更要维存证据

盟」カイロ死配によれば米英兩國

ウントバツテン麾下東南アジヤ反

わが各兵圏はインパールを指呼の三日強】インパール平原に迫つた 間に望みつくその態態を整へ際後

魔波職に采用した物形防禦戦をこ一波を持つのみである

攻略の前には彼等のこの企画は渡

を照へられる米ン借款協定につい

なく、物音の弱ソ経出の形式で、情然は現金による對ソ独音で 望したが狡渉の結局廿五億ドル

西亞インフ

英加三國政府は廿一日國際通貨安 【ストツクホルム廿三百同限】米 國際通貨際に英不満

版製品、各個指数材をととな

では米ソアの政政府から末た正式被

してあるが、わが消餓の臭液なる

米リ借款協定内容

幕

輪形防禦陣

が包圍下

摘能の下に強拗な防戒を設備して

送と切ってる雨季を唯一

## 英霊に御直 ける臨時大祭第二日 第四流(C)て自然居住と除罪、松 下をはじめ奉り東條首相、顧田 この日 天皇院といなば陸氫式 せられ御先 の御在京名皇族政 に行幸

されて英感

大量屋下では同時計に行業、新一年官相、無習時從武監司づ下快・獲相、選本大祭委員長以下文武 出門、御順路を解園神社に向は

また南部テグノパール方面より刻

パール南飛行場に改到、果敢なる

一機を死上:一機を駆敗し、さらに

原を明空中のわが脱闘機隊はイン

殿五百は廿日末明に至り遂に全面

同別中のコヒマ攻略を否定し続け

引かせることに既起となってゐた一指定を行ふ

世に対し同規則第一級に基く徹用 同日附をもつて電器百計窓用規則 定は廿五日行はれるが摩生街では 【東京節語】 顕影歯社の第二次指

「海州にて」宮特派員要」共産圏

一気され今や全部でも高板の無路

製部落として増産一金に運搬

ででいて<br />
私共自身大陸に<br />
断定されて<br />
本となり一次<br />
歴史にいてし

の男も女も質に打つて一丸

つた、なほ廿五日は土城方面に向

場を視察、四五時半宿舎世間で入

認識はこれ対し

や匪司会官の派跡文を投下するな 要回せんと企て、空中都給の強化

大中爆十三を屠る

ション州九機を邀撃

洞部落に卓を止めた、同部落に十

得した際の践村である、余野永保 多段階品評価において第一位を歴 反常り不均四石三斗の成績を次

めて七年度友びて八年度共ご会院

以大ならはないのである、取りてならはないのである、その姿ごを人間最んであり、美しい行為でいる。その姿ごを人間最

大同江を渡って護海道に第一歩を方初巡顧第四日目廿三日朝十時半

)た田中政務総監は碓井知事、

「信川にて」「宮唇派貨後」西鮮地

兼||浦日鐵工場へ

となりとの情報

からに甘口日午前マニプール平

日韓コカルマ西側四六一高地の蔵|戦闘は同高的の機器をあっても同日韓コカルマ西側四六一高地の蔵|戦闘は同ながの機関がで、日東西線のの小水東道亜貫は「アレッダインの唯一の窓の線関切で、

コヒマ周邊掃蕩終る

眼下に制す 祭神造族の整理を受けさせられ 順言ならびに禁道に採覧する新 婚國神社獲得選挙あらせられる
を 天皇陛下には諸党奉送禮に



3世三機を發見、これを攻撃し

通りの殲滅戦を展開中である

に占領、山中に迷び寒ふぬを引然 急追、同日正午には同高地を完全 國民軍部隊は延火を潜つて敗敵を ってあるが、わが部隊および印度

き場所に構造、一氏も図る名文学「中部大学洋〇〇茶地廿四日回盟」 一方廿三日午前メレヨン島にB

は一回にわたり中型、大型計支へ

の士一〇を吹楽した、わが方自場 24廿三機が來遊、わが所在部隊は

に緊切の損害があった。こ後を駆破した、わが方地上

が、昭和十年に水利組合が創設さ

姿を胸心私共も踏君に負けた的組んで一生懸命励んで も劣つてゐない、皆さんが命を捧げて戦ふ勝兵と比べ

でう御撃公をしたいと思ふ

を受けるに及んで昔日の弊風全く れて治水施設を行ひ、次いで永保

らせるのであつた、豫定以上の時

、純資な恩村人は混合へ光

集留所に小郎して一時出雲、高龍

郷の生産に全機を打込む経風爐、

顕工場を観察した、日曜日もなく 高問劉察即長、今坂日獨所長、岩

構造問題管官等に出班へられて日

中村、湖、製、梁、泉、武、鱼、祖、取、贾、羌

國民感をにおける沈村選業振進隊

THE REAL PROPERTY.

干五百名の現代なる分別行進と

人の脈脈を耐く温情能る

を受けて住民は酒と路順に煎物 年前までは一年と三回以上の水震

これを激闘、空戦により一躍にそ

部隊はこれとを取、その六機を密

機が來學、所在部隊はこれを遊覧 物と値げられてあるが、廿二日夜

ピシエンプー

一至った、四六一高地はコヒマ周辺一が方の地上沿雲窓級

はここに完全なる終末を告げるに も陥落、コヒマ周辺の陸敞魔波戦 微職十日間、ペリンの難の樂要器

空酸によりその一

## と主力を集結し、パレル死守の最サイボム附近の第二線腫地に額水 後の一厩を試みんとしてあるが、 抵抗戦地はわが主陣地より駆下に 語降テグノパールを失つを徹の

の補能はパレル 展谷、南部報道班員

四日後一名が

日間にしてモレー、ケネデイピー

ール要飾も略落するに至つた、テ

## 廣安壽郎少將以下 優賞百卅六柱

南米澤軍と 房山血河の 激彩を

金鵄の譽三千廿三名

五日常時屋里省通びに省場局よ

遠に眼院遂行の人柱となったこ れら勝足で対し、今回要くも論

て総領国の副総は全親しなる現式は抗三種一院を罷り、時で日前大名ない、また時間大学洋方面の順の光然に沿したる現式は抗三種一下田倉万中幣は十三年廿三名にして、このうち武功時に拡縦にし 世然派等の洋上輸送職に活躍し他職を奏してる船員多数も関連する問題を扱りたり 支那および涿州方面に活躍し滅々たる武職を奏したる者も多数合まれあり、而して輝く金墨鵬章設

鮮風気の分左の如し、の大東亜戦争元彦等論功行賞

同

(東南新東部下元川面) ద

(群山居泉町) Q

(成爾納山縣建立的政策里) (成爾納山縣建立內政策則) (東北海州縣海灣區內內國) (東北海州縣海灣區內內國) (東北海州縣海州縣)

高橋 敬壽自山 清一

古四日子的九段百 · 山田网络

岸後左の如く登表した

同、磁管研念正式協問し触

全に場関し、よくその仕跡を全

朝鮮關係一

人 自川 基天 (思南安部 医细环毒素) (思南安部 医细环毒素) (古南非國非國內國 田 玩香 ) (江南淮國北國 四 中成 ) (《西南安部 四 山 中成 )

問し必認したが古に関し質報問と、同十一時頃司令官を正

(爾北东東部南後的光宣洞) 本一写兵 權 泰 憲 38 一管兵權 18

脳督府、軍司合官を訪問

山下査察使・隨員一行も到着

金四男(成為)

野村、武雄一野村、武雄一

内で炭山を映察した 過ぎが単同茨職者、松本所長の案際み、終つて聊示を與くて三時半

高墨

船

長に功四級

敵襲下

强行揚陸化散

でも狂を生じょうものなら一大事・財産で滋賀し得るやう機能すること、関連関することが、直接機能の似 が故に、

西端殿士が後崎の派なく

って勤勞者が会能力をあげて

職場 るからである。 立等に関する強助が至春業は工場 とは、郊下緊要が中の喫緊軍であ 動の観念の路域、動の生活の階でその功を概念するの方流に異全 勝敗の分岐をなすものであるい一般人も一動勢の、國家性を、 の原生施設、災害防止等に関 何に影響するかを十分に認識し、 酸薬成士をは間放助し、更に追ん 型型型 差佐忠太郎 新夏 功五旭六三 等記田 達郎 東京

観土であり、それにのみ表がせて 際がはよいと 言ふやうな 概念で を場合ねばならぬ。物を生産する

功六旭八 配取 根本梅治郎 一功六旭八 配取 町田 三縣 翌里に

ある。水海く民、草むす泉は壁図、り」大阪を作れず小政をあなどら

際、解説するためには我も亦治大

蔵の面に含る酸築版士が、

は一日も速かにその登場されんこ る。極めて時宜を得た企てとして

> なる家に任み、如何なる生活環境 に做して扱るとが出題で、幹部が

医型液式を増高に減る差身も

豪学の須らく数量減を根本とし目

標とした技術果敢な事業であるこ

言ふも現なり、民一版の光流 はじめ祭神の光楽、澄波の歌 **画仰出された。新祭門二萬五社を** 

らるのものがあらうかっ合戦の勝・延身し役のやうめる経験質の追続

なからしめ補減を打込んで増産に

止まらず、一足の基金を認

概念の記録、動が生活の際文学権

れる如く物の生産は一に人間地

総合所では高速域上に後端の場 急設を望む

食は必しも大勢小婆によらず、 兵につき目下研究中であると言ふ。

である限り、この樹公粉神が敗既

機関の起源に衝撃症あらせられる。現間の影局を正しく直践するもの

と問名では悪災ないのかるべしと はない。空成一人だに生きており

勞務接護會

からないが、既なるところによれ

労力を不可峻の前提條件とする。

ものであるかは具體的にはまだわ

るの決談を一般歌画にすべき秋で 間を続け、据って助照例に原道す

る早秋に排拭せればなられ。野野

殿がどある。有別以來今日標頭國 大東龍敞野は文字通り決戦の最後の反攻は日一日と熾烈の形を加へ

立五日午後一時十五分、御聖郡

今必要とする数の計能生産に生か

み起るて歌國の忠繁に敬敬なる獣

おける矢力機動および印線に對

ランド國質に附藤したが図道は

學一記

インランド政府はソピエート

信度な時かにしたのち次の通り

線温酸に活躍、釜に放華した修送 あるが、**陸軍省では右に関し**美郎

て金銭数弦線膜の慰命に浴したの

**地名里公园**海内 查三

に投師、自ちに暗夜を利用、場にれを回避しつつ無事〇〇島 影響等一、暴速限進三部長以下十 (東京改話) 大東記版学第十七回 男猛・将兵に劣らず 陸電鳥輸送戦士に感謝 船に服したるも途に南梁の孤島を買して第一線に對する釧葵補

著ならしめつつあることは何人

頭南猛線を回して見く質一部消化の場所、本に敵機、敵者水艦の助発下、 である、各耐角踏士の決死的に、 て死を恐れず、迷と南辺の孤島 And and この一年 即總

代田生命 休戰提案拒否

一数を担否した記録表した、右公敦 休職に関するプピエート政府の提示されている。 エンケル外相とゝもに三月廿七日は先づ削が相とゝもに三月廿七日 人民委員から休蔵條件を受け取つモスコーを評問し、モロトフ外務 一芸蘭正式發表 南京虫殺滅

研理 夏〇〇一 弘龍 錢二十八個一



◆種店

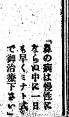
電話 名金

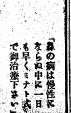
◆民間有職者

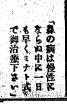
**秦** 

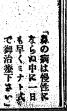


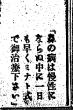


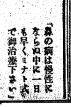










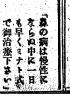






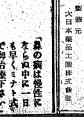


























能競隼國作八個國を大概符項金部

行政協議會長會議

**债八億圓發行-**大東亞戰爭國

は三月一日及び五月一日の二回、り添散決定を見た徹底を歌に願すを持て優格額面百例につき九十人 し、利息年三分五回、利子交孫 の歌が交子れて孔説明、総談に入 を持て優格額面百例につき九十人 し、過度を多 原当者で作り、当社

腹影を測官権施する

遭夠限昭和三十六年五月一日、

り國際情勢、陸海軍協局より最近

および日本銀行引受によりたの妨

長曹陽は首相官邸に開催、東條首に東京化語)廿四日の行政協議會

大東亞國南南第(八成)、八角國一相より須下内外の情勢に関し所見一度行した

酸

の階間題について意見を変換して 勞務問題、 右に伴み 食機能治問 る中央と地方との関係、思徳動員

産業用燃料供給問題など質問

の整備と相似も原無質社法の適

△岡本工第△沖営第△小島県林製

ならば、歌らくは裏門の暴者

を刻した刀を限じたはさみ、激を刻した刀を限じたはさみ、激

內式部、類出陽、梅田藝寶、有局

の風顔の倒縮をも正しく認識し農の土に生え、根をはつた純稲

都を高い

た、即ち一切を避けて我が一

第二次指定軍需會社

白

四

(=)

「「「「一」を設置、現場に原を正確 力をなすこととなったが現地とし 鐵鑛石採掘好調 ため外能する豫定であつたが都 に作る品位の引上並に像差問題 職への退職を探めると共に若人の職への退職を探めると共に若人の

に民間諸監修の協力を得て五月初 迎通常を接の下に関係各省ならび

行に伴ひ、表る一月十七日三旬端してをり、航空機工要が高度の縁に見ま取品」政府は道案参配法施してをり、航空機工要が高度の縁三倍に達

力部門を新に包含

第一回指定軍辆會社人第一回指

あの落見指数先生の『弱獣遊言語 と難もなどの限をみばるに述びな

だが、動量思想史上に有名な

産を見た、各類山の前年度比曹値 十八年度の館内観覧石垣蓋は上現一新切存録行を結いであたが、廿日 においては前年度に比し不振であ 反映して様に見る好調を示し 十八年度下半期二六%增産。 **ち見込生酸母に基いて新切符を** 從來は一半期毎に廣工局が各局

海上蘇成、青少年原洋經身鎮成

定令責は全國九つの単常医理部に

おいて各監理部長から強社代表に

國支部に頒擢した、運動の要領次

一議殿の準備完了したので廿五日軍 回に指定すべき軍務會社の監衝を

が、などの動力部門が新たと包含いた大きの動力部門が新たと包含

これが抗威をなす錯節門をはじ

際の基底とも何すべき石炭、豆斯

保各省の間に協議を買ね大要次の

の色一回指定に関しては温度水関

軍需省當局談軍衛 かつ原孔なる地域に跨つてある

合工薬をる點に立脚して全量燃工

際、屋、海、運通四谷間段の取締

急度を断案し宜鉱的制度を行ふこれを影響として事楽計群の緩 間」の設定▲海洋位差者な射象の発集、混員に對する「脳網週」の発集、混員に對する「脳網週 報獎金制の 概念随道西期間であ

脚梁、ゴム、車輌など航空機を中 一般、無調、經金屬、化學金屬工業

とならびに指定會社の数が尨大機構が最近機能するに至ったこ

大,生職第人告與劉爾所人类新雙作所,給之一致經濟不可與國所人類目經顧所人類目經顧所人類目經顧所人類目經過所人類目經過所人類目經過所人類目表。如此表演工所人類目經過所人類目經過所人類目經過所人類目經過

**똃繁石油、石炭、瓦斯電力、造船** 

空機の部分品および監船に器、機

坂鰺工所へ秋田造船へ秋木工栗へ

今回指定を受けた軍幣會社は脱

七十四出を敷ふるこ至り、軍器工

朝をに指定された四百廿四配名

社に今次の四百廿四社を加へ五百 く軍器會趾は第一回指定分百五十 の製蔵、規模の如何に関せず難し

び生として今後の

生ぜしめぬやう仕事の進捗振り

色である、要するに設備について

の際大いに必要である、また工員

と充分に睨み合せて領充を充分

すことが大切である つところの経験を前類有効に生か 古一種深い主意を持ると共に持一

なある。これにも特別的物質の原面 ある。これにも特別的物質の原面 から、これにも特別的物質の原面

工員の移動防止

とのiiを

大日、本北道社六日、江原消廿六日、本田、成田道五月一日、成北道一八四月廿六日、廿七日

を成功りに、正月四日に至るまで の間各道職と氏て明祖、源知事會 際こだける総領、源度の過ごに基 き、施度方針の他記を現するが、 本年は物に信房及名詞より保育が出席し、末端に対する練習を通の気に努力する、各項登職日際は 司會職は廿五日の忠南、全北南道十九年度各道足例府事、遵守、島 各道日程、廿五日一五月四日 京殿通廿六日、廿七日忠北道廿

が成分の四四年別の続けががは四、かくて生物の陰がとなってあたが とが行る四四年別の観けががは四、かくて生物の陰がとなってあたが とが行る四四年別の観けががは四、かくて生物の陰がとなってあたが では本年度の経動生動力と需要 のでは本年度の経動生動力と需要 のでは本年度の経動生動力と需要 のではる中である。 がお存むに

産業は高度の計載性を附頭される

府尹、郡守、島司會議

これと取組んでこれ の陰路がある、先づ 労務など特にこの取 際下において、棚々

に緩加させること

三、原料資材を充分手替して限り、三、原料資材を充分手替して限り、

登世統制の一元化と件ふ言語

四一半期鋼材の 一一三元 全の他一一九% 西二三万▲和二六五条金5

「問題を中心として著 ためには技術、直体、

で見触を置かればならない、例へといる問題については、特に協格 ある、現有設 備のりんな作

に日本國家機の正しい把握とこれ 烈なる既況をよく問題させると共

東三の原料および資材の問題は今

由来半島の特性として大阪平

ふ、精神的方面としては現下の前

に取替べるとか、京た先日繁によ は戦慄と留ってバイブの太さが足 があれば 日本人である 限り利牌 に性な意識によっている。複合

一込んでをれば異の等一には大概こ って一部電気に放棄を生じたが、

門とは他の訓練は景草多くを必要

いので、国物的にも考慮してやら 神のみによって生きるものではな とないと思ふいなく間は 開線沿線は大同江の水、保山、鏡 開補の継、開覧な配力と立地條件

分配りぐらる体心だから」など

ら工員の末に至る途、例へは、自 に各自の自任を明かにして社長か

原料の職集類、工場資材の大手職 門と原材料の連般の船が海底されば比較的屋好であるが、たり地理

関うと共に其の不足では自治的類(数、助制等に関いてる重要調整と関いては魅力が対象が、適用法の合理化を、数を以て感、石炭、蛇を順、砂片・砂角の適正化、適用法の合理化を数を以て感、石炭、蛇を順、砂片 して会門増育に関し辿かに通常な機、開閉等に限らざる軍要産業と 等額の不圓滑等により漕しき減虧 を見つくあるも食糧場際の過消せ (へ) 操車並に削縄に新工夫を暴 ねばならぬ、本を本性と工場が地 かせてはならない。自分が休んだっといふ恥んだいはかりそのにも担 関脅適正を期すること 配合肥料原料の酸石的供給の類別 イの配合的料事業の調査 (四)配合肥料對策

(1) 水利の便声に依る配給の瞬一

空空

対数とならない

れらについては今回の機構影情の

第一の統制組合が存在するのでこ 常については除外され、また陥お

の地域を小数日々と呼ぶのも奇し して、朝かと眠ってゐるのだ。そ

小林節

は魔、精、たとい風に、

べきであらう人が地

的に實點回給レ次で水利不安全る爲水利の確實なる地類に優先

金肥の有効なる施用をなさしむ

(へ) 海上録ぎに付ても権力其のなすこと (上)小瀬田と東ての船車を送り 利用を関る の手数科以入版紙を來すべきに 関数をなすとと、右の結合系統製 に軽み省分別結果自の経験に対ては其の り別途助成の方法を識ぜられた

(2)指揮力の良声と依る影響

廿五日休業

原場文は極良地主動として指導

深層にの有効なること明から

**密取別所名當目休場と記是** 

(六) 金肥施用法改善

期に近づつき配給を行ふこと

をりて水利安全面に在りては元配

住宅營園評議員會

を題て聞立し

然るに現下の状態にては肥料の増高 て之が基礎となるものは努力と肥料 て放連確保を要する國家的資訊とし

の元代にあるは国を失たざる所なり 上極多の段略積るを以て之か打開を

成すること能はず 歌うるに非されば地匹其の目的を選

も比喩の確や排し目的選成をなる。 肥料の増配も亦時局下騒材事情の の境階に求めなどす、而して自給

(二)金肥の輸送隘路

金肥も重要産業

以上の資情に極み球闘法人闘熊舞

数の均衡確保に関し限力なる施設を して此語家音家書の生活造林をる動

質問に移すは耐熱中の懸然でい

時、正要員會を開始し、質定の類談者を 時、正要員會を開始し、質定の類談者を 明確し、質定の類談者を 明確し、質定の類談者を

**直接图表** 

肥料・飼料の確保策

策の内容

を乗り質要性に動みを前の場面に を動に求けるとは難なる事情ある。 で表現に表けるとは難なる事情ある。

に影響と が、右隣対策の

まらるべき 田用思の 編字、 甲級音画

根本理念

二年に至る十ヶ年間は年々祭業皆

至れるのみならず縁差に忙ても被 受け急災なる供給の減少を見るに 最高期に強し、以後時間の影響を も昭和士 三年ル発向士 年にだて

(一)金肥の増産

製炭をのがし

四生 新工場への配車には成る可能の影響増弱を励る目的を以て金い

現在運動中の朝鮮中央肥料配約就

(三)金肥配給機構の

の打開版を続するの要あり、其の至りたるを以て、出來的る限り其 一座に比しったしきにいるで

決戰下

肥料對策

於て約三年唯づくの増加を見たる

波と脱山南面の接送離とにより従

たの連絡を一層緊閉にし関車の人へ一、配種語の間化を網る必要上層道性局路の間に下層が開発を表しい。

脳を実施すること

の個滑を関る冷極器に関したの指

を持ふこと

世一日小城高音

又肥料問題解決の有力なる一気を考方策を得をるに付、彻高職、御採

概の上南切なる御師部相印度軟束す

財富法人類維護风倉

一、金肥對策

金肥の検送協路を打開し極力輸送」
東周レンが製策に周囲なる注意 からしたる原状の筋へ取るする一からしたる原状の抗神命の不祥事をな (チ)船車輸送関係公局の協力と 意と (ロ)、線登録ご様する脳線の範囲

配合肥料事業に助成

一般的施用を発すること の増加を供出自給的料のは一個質が耐に依る配給機能

合せ鞭逆の計選化を開り一般の単なるを以て徐逆監路の関係と読み

原 肥は土住、作物の特性

期極途をなす意識等の注意を持る

合を見合せ戦肥が絡に切俗へをな 用の河朔を失する駅ある場合は配 り背景地への徐差に時日を受し施 \*\*的配合所へ修送し返に配合所よ (五) 金肥配給合理化 (3) 作物の研製に依る配治調整 ること

て 命の 強い合

じ金肥の配給をなすこと

用すべき作物の質類及順位を次取時間給を本旨として金肥を施 は選続に成り深層に脳肥し向ちに

に買りて大約三分の一つつ分施し 形成邦国治に元配と温配とを三回形成邦国治に元配と温配とを三回 反射し内部に金肥を施用する。 施門医療なる場合は第一回除真別 流水を行ふと、但し植付前に深着 に後水となしホミ打等にて土壌を

後一時なる魔が世界一句がから日 設定に関する評価は数は廿六日午 朝鮮生活を聞の十九年民以外計戦

の変形公開に伴ふ損失補償を必要

貫統制へ とせず、從つて生蔵数の坩堝を招 く緊急はなく内地に比して條件が

る意味勢力の高率活用と生産工程 欧治嗣化し、手持査休の相互敵道 鮮西洋機械統制組合の研究部盤を 育利なので、機械統制機関をる明

の一般、東京が公司へと思くは戦後

「感覚するとき、東山に眠る志士も 御別程を関った諸関神社の祭神が勝ち抜く必要がある人類くも

除権期と効果形成期とのご回に宣

規模、単版などに拘らず軍術會必要とする會社に関してはその 勤皇精神

明治維新の原動一会哉」といひ、李煕谷先生に成い

部

吉 雄

生(頼本義別の各千城の先祖)

る、この様に見て來ると、我が國

◇朝鮮文人製園留で広朝

で進制に繋がる指

も送際先生を蜂破してゐるのであ

元節元田太学先生があり、同れ

の一型石人が可能相解へた、質量

の道配に、朝鮮純陽の思想が、一

ては「異域同心、既に此の説あ

山崎先生の際は、一方、水上際 思辨趣説の質値を上下してある と朝鮮

の応士、特に水戸の応士養に家廟 の応士、特に水戸の応士養に家廟 関してあるのである。

され、その経済無垢な血剤を、限

製谷の二党哲を研究した、 勝門の の経験三星観滅先生も亦、退済、 派に影響を興へた、それで影響館

ることが出來るできょう。 それば、かかる史質を直視して ののことが出來るできょう。 感の繋がりを持つことを明瞭に知

そしかたものである。

配り

金士永(原南北)の語氏を現地へ

かに李道宮、李聖谷の二線間の名 が開閉に紹介されてあることを

又置く、退浚先生の思想を研究

とは、時に朝鮮に於いて改めて認 に朝鮮と深い関係にあるといっこ 原動力をなした簡門の一派は、変 い

動

星

史

上

の
人
物
を

別

残
する

と

と 新七篇々、我人の耳に、なじみ深

よりも、君臣父子の道そのもの者であつた、孔子や朱子その人

の瀬神

を植立する有鳥の真面目な 関係を確立してひるろうご

日から七日まで午後一時から五日

東知に於いて疑惑に於い 一郎展相談所第四に於いて疑惑に於い、 一郎 東州大原・

と選択

退機生は他めて神路な過級

とである、地下数百尺の下から異

6出來るのであるが、此の維新の

髪の一の単映な描程となること

に繋が

むとしてある、質問とい

なすことは、前鮮の精神力型

韓国に基國の逍遙を確立する音 取るべきは取り、あるべきは終

世長覧会

と云び、身をはて動量のほぼとが、今年新たに神君に関る。要と云び、今年新たに神君に関る

作油網膜を廿六日から卅日まで三

第二次指定軍需會社名 加賀子人名物道塔機へ発展セメン 川島芝浦ターピンム伊爾劉爾所へ 工所合行制於所合何意義合行 会議職院所会が簡素

船人党通盟作所人須賀魁作所人給作所合定田飛椒行盟作所人和吳道

△東京都經歷中東

「東京和經歷上東

「東京和原展上東

「東京和原東

「東京和原展上東

「東京和原展上東

「東京和原展上東

「東京和原展上東

「東京和原展上東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原展ー東

「東京和原東

「東京和東

「東京和原東

「東京和東

「東京和

「東京和東

「東京和

「東京和

「東京和東

「東京和

「東京和

「東京和東

「東京和東

「東京和東

「東京和東

「東京和東

「東

日新記合日網報機造合日報概案

不觉明人日本党領治金人日本智器

小 遊 鑑 高 関 型 グ ス 間 関 別 グ ス 間 間 限 機 器 先當 先當 先當 先當 先當

級威楽人日本アスペスト人日本ア

あり未然に向えたしてする成ける。本質だせるといえやうなこともこ。べき様でもこから解説は、実験職 悪いては関係の妻も仏堂とする他の他の故院は毎年世のものである。| 郷地で駅海しを設させば城地に | 東近に大阪殿がてあることを挟る。 ならしの地震は続い出来ない。 治常化學工學公子都當與作所公子 獨公局醫成然科公孫伸續公子 公外工業所公務整學與公司陽雙 延いては國家の最も必要とする飛

大日本 機械工築 △大日本織染△

**人東洋航空搬継人東洋郷仰網人東** 

個業人日本協康セメント人日本の

△監殿作所 ◆紅松殿 ◆紅

本ヘロー工業・自本ペイント

れぞれ配納のない無統二に**陥り**が 此を東京その他にすることにより といることもいひ得ると思ふ、本 が内地に破べて非常に影響である

常に本社から社長なり気役なりも い、この脳本社工場の選給を販出 にすることが必要で、このために 終りに牛園瓢金雕生蔵に封する概 で関することが半直における概念 行機が見ないのだというハッ 緊急、用水施設擴充

在一度工廠 自本鄉鄉所 自本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人日本鄉鄉 人

光機人常士頭信機人常士航祭針機

からして能器の前上を関ると共 することは是非なさるべきである 現場の把握や工員との接觸を密に 概念といと思ふ、特に工場確設に 事のなみくならの御屋意を深明 韓國下以下各國深道はよび本南欧 ようて人口が意識に膨脹するので すると同時に今後一階の御女後を ▲自動車機物▲子葉工作所▲中

国際記して続くと共に上水里、特別に工業用水、運輸、環港方面の協力、大大学更多お願ひしてい あるから、物質配給を出來るだけ

> 本月に入って十五億七十四回台を 能観客は最近膨脹の一途を辿り、

で廿四日附繊維局長名をもつて地

合に抱指する方針で成果を得たの

道所願を單位とする「木の統制組

脹一途

方長官知道際した、なほ機権統制

は伊米の志士初が日子の独石を接

さない人だが、そこに

東北北國縣合東海北京衛後全東 生職事業の音波なる流域と他自溺し、この飛轍的財産の主因は様内 原公百七十八萬本子 篇 と 交復 持織、世、日機越の銀行高は十六 **発行高推移を示せば左の通り(単**ものとみられる、 たぼ一日以来の 別國際と鮮風労の交換散析による

▲ 日1、五七四、四十八人十五日 1、五七七、四二八 技術を公開 資材相互融通

し至った思想の土であるから、

機の整肌も受害クリーム唯一派手な衣裳を輩寄に載へばお 無用な旅行や有閑社交をやめ

・ 廿五日休業 加密を設施するとは、 世五日休業 加密を設施した。 世五日・一次関本の主命の対象に被明の意を記するとなっています。 取引所も休場 共音は 金融機関は、朝鮮金融図 門比の鎌密域として、手投資材の 相互破地と共に保有技術の交流、 可思機協議の総給巡遊に對極し内 るる機能メーカーの生産生命上以 地有力メーカーの鮮内進出を敦機 の内地脈消防致を扱に

も対象時件を有しないので、技術性友を願い、石井郷王の野門向れ 致に決定した果本機関、企子紀二、 原館的指載を強いである、今回続 変合目に及んで題に光りを持つも のである▲勝原鎮足、菅原選其、 ひ留つた久災の子から代々づけつ の無りとして云ひ変す▲この九陵 の精神は、神武天皇の御泉征に従 腕を無してゐると思ふ人大着鳥の で達るの容量上の登場とする版因 ら派士の忠語で、いま、野兵の胸 九段で達はう の合言葉を武人 一首の城はなくとら

時に、我々はこれら先人の旨こも って、鞭気患士の際に通ったもの も無声を倒して御殿政の領代にないってあるが、いつれ は今日一切な他の心に生きてある 桐木正成、北山野野と次々に四次 べき一日の関単を地下から眺めい 変を解放して思威を八枚に繋がす 肺病治療。原

○、唯一の原因と止血法 ●本限の原因と安配法 ○野 菜 と 果物の 原効 ・下 刺 と 即移の 海 し 方 の 事 本 と 果物の 原効 理 七二 五〇〇 〇〇〇 刺液トミアンオフルス製新 「一生"オピーの 

の単純化をはかることくなった 超券市

活液 (甘四日) 月末保保に 山は指々近況を呈したが、株像は 田は指々近況を呈したが、株像は 芸引 西西 後 139

変 第一に が な 楽 は 暫い 筋にノ





**一种工程** 表 一元 語 二前 曜 双

[호충] [호明

良い

家庭に、錬成に (S)

著一指 効切の ノに病

やけごり ちじ 等き 傷傷

〇コケ所本南、欧南の各道人都所在地の近郊に設置、近く附所をおる歌曲跳る所が、京委び出会らとする。徳成道場しての名も、国してく僧民陸総所が、李憲経府が、京委

藏、孫、晉 關(産

けふ午後一時十五分

要として廿五日午後一時十五分

から廿四日関係方面に海岸した 他の語に休暇を賜る首、職者所

常図神比素学図時大祭の國民行ひ、第日は官職、常此、副校その

んで厚生へ蹶起するものである

顧陽者と純核を販ふ締後から一掃して、展園の賦力に大和魂のこもつた豚の館を

と共に半期の優兵、衛民道成へ積極的に乗り出すことくなった

健民修錬所近く新設

なり島園悠久の後限へ客前せんと

る開催的規律の確立を骨肉の同盟 するもので、医療所は常に破正な

在、形態檢查、機能檢查、生活關查

を収容、六月には各億

もつて現代料器の到還した成果の によって結ばれた家庭的野崎県を

養、照飾の類正と共に離力的

もつて近く人所命令の通知器

健兵健民

的な機能消をはかって

じ陰繁生をして総合権力が上の触

歌を把特せしめ修練の縦原を特別 その修練の要請は全修練期間を選

修練生各自の際力に耐悪した心身

上除去に努め、修練生の 析的に具態的な現示を、

東大綱に売き結核強防機減を企園

【新京昭話】 瀬州國政府は基本

へ入所でる 管解

靖國神社大祭第一日の御儀

能の製品、香川、耐町の各販連続

と語った

つた、明網会前夜の運动式の威胁

の文人を各道の暫兵を発出へ派遣

はるぐ山形版が早島のお目が

月廿五名の先後殿である。一戸九名一

來れ女子戰士

遞信局呼かく

4-四四八〇

选子证法

的 通見 引

F\_34\_77E

高

血壓 ん息

用服内

スルナンアナ 内五世 四一 リ

上アンプル中ピタミンB

せ

神經痛

さんに御手本を示さうと三月初め

1 1 五月三日▲金村龍灣(咸開

渡難した衝撃陸家の人々はい三蔵

を使うない。 「他は他の一般ない。」 「他ない。」 「他ない。 「他な。 「他ない。 「他な。 「他。 「他な。 「他。 「他な。 「他。 「他な。 「他な。 「他な。 「他な。 「他な。 「也。 「也。 「也。 「也。 「也。 「也。

れた地内に影散の第一人がり、午一 を敗かに顕行った、この日間のら ※向を印き大祭第一日の階階 会第一日は 観音器 りょりの 機を続いなく終り絶別 の領に明けた。甘四日 電影三国二千歳の窓 御幣物を結じ急進、御祭文を察し より御覧前の関便室町公園室町は 合祀関係的味など代表者が経政所 午前九時長きかり

敬虔な耐念の波

を行つ池

るのを神と迎へましく中間造版選

「東京にて田中特派員録」関し会

月中旬ごろ派遣の窓定

であるがその第一陣である黄海道

年金等とよる直接成力の増棄補給

は腐々些かの线みがあつてもなら

つて女子の進出が容易であり高 い、整層部内には男子の立場に 行ふことになった一郎的、間保、 過信局では女子瞬息の大気が用を

河川郡加山岡松瀬里へ入浦する五

治座で觀劇

明の昇殿夢理を許され数度な芸術

岐阜、京都、山梨の第三群が夫々 が、また午後は青森、岩手、扇島、 も新たに物殿の第一陣として野一

玉帛を磨りて経臓、臓いて関海軍 長宮殿下裔列路負も相ついで玉串 大臣、大經委員長、寶陽東京阶國 性級管下海軍 部隊の恐屈が 開始

ではやうやく一般の碧緑が差許さ 磐坪も終れば一の鳥居から採殿ま に打縫へる遺族たらの関れの昇酸

「日の廿四日期保勢向を仰き厳務」と無駄十萬眞勲の所念の流れは果て東京形話」雄陵神託院伊大祭第一て屋民の姿をする國民服の老祭な てしかない、大鳥居側に置けられ と無路十八百日曜の断念の流れは果 にテーブルを関んである さん選が配い天幕の中で所在なけ 今年は述び子が一人もない、国

の御兵物在を消じて、三國半島頃の に文人を派遣る空島初

動を置く関心だ、観劇を終って取 大忠巨爾公の湊川玉邨の輝古に政時大祭郡納河側を戦策、吉野側の に引上げた ふ情都のあちこちを派リタ方復宮 行られるやうに戦をこらし、

溜池工事計畫愈よ完遂の運び

Je.

い職場であり、既に多数の女子 所も多く動労挺身の女子に相側に

四野草を摘む會

かな人間が京城をはじめ各都市の

(詳しく知りたい方は同次院市東堤川区三)

**農化國** 

Pf

究

所

市東端川区三國本町市東端川区三國本町

みとして無塩級にある食

お音所を使してある。特にはうれ のであられませばの数かたは気が広 のであられませばのないはるとい のであられませばのないはっとい

月やくとごうりお困り人間が大きを関この人が再次である。一足では一人である。これが一人に対している。一足本の人の方が一人に対している。

官民一種の食風増盛期の夜を日、を飲り取らて動物でしたの様は、物類は、処理がらなってからなってからない。この結果は「体験民、勤難隊、処理がらなってからるが、この結果は「体験民」の小溜地によって説明らしい成果

女子職員を採用することになった 性の手に撤留して貰ふため大概の

で家庭の食生活への利用をは

いてみると

た帰しい現状を総督府殿務職に幸

促歩班と汽車班との開迎に置った場合といなった。

しかも展置のほうれん間は眼時気疑問値も極めて多く、美味で

血液型判定

関語の場合は出版をの際に標す、

るが今度派信局では出來るだけ女 態質が種々の事務に掛ばつてゐ

・殿勝科副館ではこの食用し、一般勝利副館ではこの食用

最親の凶性と遭遇しても平常より

里公のよい

断然秀れ

た桑葉

前に、有望地は午前十時廿

**職に気すると共に一般に格示しよ** 昨年1

変えて作品にして聞く別群の図

年百萬石類米をめざして全難にひ ろけてある小湖地工革等の事業は を進歩させ、その後物域い進行は

改良の雄闘を果すのだ、親敬府につぐ敦闘士裏町歩といふ土地

四月七五日現在で早くも九郎一分 完善、整備の記載をあけることと 〈到鐘、本月一はいで計雑目標を 昨年十一月、機衛府が願起して

これで今年は早くも過ぎれた天候 功労者を災略する はこの完了と共に各関係方面の

される田祖名は、新しくおいたこ

冬でも新鮮な野菜魚

歩合三額を混じてベンとするか

海場で林楽治、上田常一両とになってゐる

食物として能学から観視性が増 産物としてが、日本されてきたが、 悪になってから母素れた大様は、 悪く側尾を写の面固に拍車をか のすが芸神れにみる大機性をあ けなのである。

京城道等市场山

液檢

查所

悉的(南大門學房間)

◇…空陽地利用も 節後の留守を暇る ものの締めだ いまで続りに終んだ機の影を復す歌劇班共同耕作 わ合所におくる意識結響 であるが、これは輸送の 勝ち扱くための網對原件 食福間版の解決は職争に

品が全出来をおんだいかる

冬期でも夏季同様の生態食料

から家庭のお臘にうんと上るやう

祺

安洞國院基松川明宰

白災も順勝な育成をふてこれ

類根もどつと各都市に入ってある になるだらうが、この外令牛蒡、

ペン字21日間

あるが松來比較的附却されてゐた異質順分野の新たな開拓が必要で な地路を図る一方、採食可能な新 金糧自給自足の確保は積極的

関係信息の後後で田川元京城

知ってか大地は最 でもと注ぐ精魂を 秀であることが研究の信息明から 器の現が反射吸煙からいっても気 からいっても主要含温度作物に

> の本格的認道が京城の近郊で 施護領域らの破配とより貯蔵食種 し同時に一切信め際に備へて今 冬の悩みであるがこの悩みを解決

497 合 不 ルセン 安 70 音年期老年期活力増進る諸障害に 65 質 内 (各権発動の・6度機関基単に利) 支戴設明を(専犯) 影響 ( 住場 販費元 日 本 襲 品 洋 行 大阪東高温線町内 へきる 東流元 國際ホルモン研究所 大阪南區議会弁ノ町 全意 ) 東

から、安い公定値度の冬季に出す。 焼、四、五月十八銭になつてある

月士五錢、二月士公錢、三月十七 の小質に対する一月に十四日、「 中勢は昨年の出來秋に沿げる京城

られることになった「野菜は勿識

年間皆憾で耐へ、しかも冷水文は 無介疑でも何でも一個乾燥して七

聯合ホルモン製劑

聞かるといぶわけで、近回になっ

よりは高いときの野に出した方が

るが、何れにせよ野菜の豊富人荷

は賦力増配への張も力限い担単で て生芳がうんと入何したものであ

でいる。これといいはいである

本社寄託献金

間温湯に耐れば新鮮なものと同様

◇一如解が大地を黒 高くつまれた自給吧 が力を覧へ、うづ

◇・白海に延び上 靭でめる

る青物の生命が朝

手のない影響の「

石ごろ急びで選び

藤菱度、切れ

\* せらて自然を

地とははや被募並が、青々とのび、隣では、白菜の、種

研究の主は最大統制定長の湯村 し置元する戦時下にふさはしい非

く樂ませる。

協一盟言工英 二匁、次いで大日の五百八百七四では蒸焼が第一位の八月二百 一三匁、米の四国二百匁となっ 殴力場にもお目見得するととなっ りの強定であるので今冬からは一

多年中学品校市立の教が高く。 漁牛時での那樹所在地域口には、 漁牛時での那樹所在地域口には、

中国南大門通州群林楽田後供式會中国黄金町六メニ七東定▲五十四四四防部金「屋里」▲首回

新生命が古くやかな貨物にも脈搏つ

原能のなが残いこの空間地に映え、闘助する東龍の

く勢める。一つくの生命が、歌響にうちふるへ大

盟の現と立路移動旅船の現場で、大田高銀中のの

僅か四、五時間でドブヅケ朝鮮

清物乃母即代理店豪集

頭紅▲四十一國十五錢江原道

クヒキウケターの財報が縄び込ん 生産業家から、

恤兵金

関節の三人五ノニ、三枝氏金、「勝葉」▲直図細 過間以公立國民學校見第一同

・前記金光東豆氏宛にそれ口消水鏡山郡守、續山南祭

のでいっとの開始が開いっただった。 飛行機敵納基金

には大正十三年、九次の

四百九十九四十六鐘 【施館】▲百風獺路高明倫町三 【泉計】 國防撤金百十九萬七三十六國十五國 (加灵金)二十七萬一千七百八

漬よりも味良く手軽に漬かる 

心身の保有者とさせ、聴散の力と、これがため修練取目を開在、指導

音羽侯の葬儀

青山齋場で嚴修

行軍、際力隊被定額目、改選、角つ生活測察、際線、保護、教練、 練生各個の魅力の推移を廃職しつ 話として最後の意識においては修 惟力、簡生 随話をふくむ 便民間 國際の本能を主軸とする精神制造 民動衆落行に概念を期することに [第一版の一大國東を3個兵、側

頭力なる対策を固立すべく、かね て諸核對策原綱の作定を熱いであ たが、この標準定を見たので合後 级前野

十五歳から廿五歳ぎでの内雅人は一瞬回の生活と戦を施すのである。

で十九年度初の入所住として収

明廿年成とは半周青年を一足

の隣のある者と、際に指核者の

他に心身の無双人は他指導網の他とは指揮人間をはいる。

果、急性肺炎と診断、即日同病院

生計を援助

智井内科に 大院する こととなった

兵は京城西大門軍強衆町三の五。このことを顧き知つた首田上等

也ちゃんの上に注答、一方公子

て二人の子と極らない恐怖を哲 たフミチざんは主供会一人もつ

援護打合せ

つて病人の回倒を見て殊た、二

日爾蘭室で取人接頭に開して帰せ 離一門に聞える人物間

**秋飲養の開催、食糧増産のお主** 

百月、米と次で第三位を占めど

られた動脈逐脈式を送行した 関連動に即断して幾個品では廿四

あるが、これとく

身的な着柄は同時しか同病室の

病見護る戦友の妻。帰院はの変勢の職法のない。 制度擴充の五項目を場げてある。

長の道がといもっなが、は間を頭の跳び音楽から知ったのはついまた。 一気の道がといもっながはあったが、 でもが消ぎさるませを同しむだた。 一般に関いるができるません 一般に対している。 以川、曾田、総局三上帝兵の成友 | 田、藤島昭 | 南兵が版しい地内生 | 也ちゃん。子と帝でる彼の身を差 国務構造は少しも思らなかった。 山府野水町一の七一の留守宅に借 中面蝦井町二の一五二尾島アバ それぐこの事間を文面で知ら

の動風をよびめ、夏后、夏太后附

越した戦争的なものであった。曾一近であった、胸める時で長男の哲一

一その中ルイエラの対域は限に思

な間様的なものであってはなら

不要不能と認めらるる旅行が其一つて聴機せられた城友の内と不断一

即ちたの政策をの協定

の断を組たない状況であるなど

国保の遺族が世間より聞かられず

は否めない書物であるが徹丘側

卵一般に脚せ動じてをる現在に

だとは、発来のやうなって方で

度の質別があり、先には影徒も

指揮者や世話役の方々に於て、駅 國班長や、町食長、部落門長など

大々一定の間に依って

金融を含めるだけて、良く理 芸相談相手となって強くのが何 例へば攘夷疾助行とて開車に申

数数、生験数、茨塔铁助金など

頭が輝かつた路に、駒ての靴に と把握することが比壊であり、壁一

的であつて態時生活を到じて

前線の覧をとて、野

接続力の地間にお役に立つやう

観和の所拠、成力の増照、接触の阻化を二大服目として廿四

領学の合質山脈は下腹の乙城行さ

際の経典は現る後とり御語的

清伊は中的九時環境に到着、 九時廿五分には柳内三殿下をは

をそのぼく引願いで、初勤国の一卒後一年組にそれぐ、動務してゐ 前等。晚間局、路周上容云达高江 たは着田上雲丘は高昭卒業代入館 美しく色彩つたのである

戦災者の英級勝印、女子慰恩代

と新し質品的深計級的に新いる。 日間、日間の戦な以来、 |重要の表||五十六名な表形する

ヒタミンではピタミン人で第一位 際的でドン砂などに最初の混入

金の開発に何つてをられる場合。でて置ひ限いのである。 接続ははらもあるのである と、手近と市る前便と変行の次る 者の内から順番に手順なぞうるな 手不足を補ひ、略家であれば同葉 際家であれば共同耕作に収つて入 する金光泳相氏(30)だ、十九の 光路 75 を 親と上海に渡り数でも同地

の確定「自衛ー化光氏」
の確定「自衛ー化光氏」
と、よの3とは3て出した宗統
た、よの3とは3て出した宗統
た、よの3とは3つて出した宗統 着々と地解を何めたのである、金 生衆の級談に物質はせて

・ 主なる放送5日 【张行杨献的苏金】十四一干四

上降

前級の報路行はれた 東宮居多数差別、軍で日の昭成と 果出版領心勝所願祭は、廿四日、半高減減の神経まる種関神社の大 密度あり一般を代表して韓橋力昭 だっていと疑かに執り行ばれた。 関末務局無長の玉田の郷駅があつ 聖地に耐る 必數亦願祭 護國神社で 三時半から倒れ される路園神世界の四時大祭が経 一時間に依いては、一貫五社の英葉一に、成は言葉脈張の輸送に、身を は、戦災取人血腫に跳れさせ給ふ かと続い行はれ、我等一個の国軍 場の許様を<u>時口を</u>がみと過じ ますると共に世界に知ひなき見図 日本に生かれ、くと行躍さを解れと 孤勝に振り、 について大型左の如く放送した・ 動きな 残なみた 日から渡しる ★ 運動開始

数一は『生能力を坍塌すること

思ふ行うに願いて強くをめには、

士をい何に不言ないるない

國家

や兵職も対民

りも先ついいなことである

しますと、原復版人となって四

ては、地の家族の生活は勿論。 せらるる川東滑兵の方々に倒し

は、単兵制度電崩の第一年に於

台所にどつと野菜

聞かれた場合、これが削減性気の ならる状況にあるなどのことを して、其の子弟の育売もなのがく の方があったり、民は又破破せる

飛行機、関節、大部式の

際する大明である。此の「数に原 無して原理的民に対力活躍され の関をなけると共に行って一丸 つつむる無限の方々に対し、隣形 先つ第一に一区階の信念を待入路 力を解注すべきな語を選が上にも となり輸送の関係完遂に扱いの労 くするといが必要である。この回 は、合の一家人経過問題的 戦力を増弱するものである 村の人々に対し、各々が内質せる の原明に常り魔器理士や、関山漁 他語、聯門大學、自然、題、 石炭、軽金属などの場所が直接に 國民権力総盟初め諸國際に近て

殿垣人間隔の消息、出記題日記

一般の赤殿を与て、関係国人や、

度物の徹底的終行に就て力限く呼 家庭に於ける日用品の中にも、 恋く供出し得べき最高を

て物域、同士時日十分前期祭の帰 は満りなく終った日常に一種飼神

り我無続後の新は原軍将兵の方々

に関けて調味とると世界地 助をなすとが扱も肝災などである 忠勇無效、一身を大元前陛下

方と刺しては然既の確ったは間欧 関係上、飼家、公共関心だける に比較しては極めて少なかつた

接種語がも大き動のく一般民衆一種の強化に付いては、先づ一

はおない、他で明明においる後 地といれ的道法の聞れでたられ

成は文文等の家族の中に不認が 生物に困つてをられる場合とか

手近かな接護から かは損骸に軽くない所である 軍援は銃後の責務 開鮮の単人接触質性は協めて少 問題を、一般の人々も初共に 内地に劣らるる個人接触の間化 に通道して行かわばならぬ

場合とが、関展領人の遺歴や、

職保相共の観念を技能とする私が

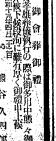
類はられた方が、肉乳の高に吹 が一条子生活に困つてをられる はこのは国の特に説明すること 付ては、回導心配をして頂かな いやうにとのおく方である

たおく方は心に立場なおく方には、に見ばけられるのである。かうし 李人気といへ、自自出づるこ とを開いてきれる方が多い数 征がは往々無事扶助を受くること

て、明の人祭を爲すべき名誉あ 帝國軍人としての本分を十二分 の接続に民選問な老を押し、交 既は熱征流踊兵をして名群める に緩和せしむるやう、その家族 うれた草、南部、東成自家など豊 今後の野菜がながく関作だ、ほ かどねつに きし即作用だし 解析 いばれつに 0

司答解(組)及差) SH III 追 Ŧi. 號

議議院 が 非常食の作方 ・戦時榮養食と













開場に半層人常年の徴兵検査を施

無籍、第三高女を含む六中等學校

の寄任をわが血肉を通じてはつ の寄任をわが血肉を通じてはつ の寄任をおい、よろしく衝頭 に郷り出て鼓舞激劇し大いなる

乙女の眞心籠る慰問帖

項町屬養總常吉原留與(以下略) 環境國民物所本世演▲「等總里日」 出國民物別添在法▲三等滴灘潮 年

響等援襲車を訪れ、提詢問題の差

「日廿四日京城郷郡高文では完成

生徒六班に分れ軍司合都、京城府

年齢、三十とも手が届いて、レけふまでの使戦

こいふのだった。

と、ひどく気に入った形で 今日まで願べるないだけで

寺を防れ、藤原の英郷の連律を行

を水に避したことのない易が、今

米だ質で手と足以外の部分

日、京城の街に住んである。崔大

仁川の軍

れ相應の数箋も身につけてゐる知思といって、裏問数音をうけ、そ

舞鶴高女生らが前線將兵に贈物

所では管内の城東中學、京城商業

J無管の 脚みを 現へるため 同

を初め國民學校上級生徒及び事

さん、うんと頑張って下さいね。一

農管年の世紀の出後を激励し、併せて時局認識の一職を果す行事を

全收入を捧げん

松崎ふみ子(カバン) 新山高女一

肺尖 肋膜(三勢了)

由からにせよ、小さい時からの決

部日の密場を販はさうと著々

日預場の見襲を許し受験者を激励

せしめ世紀の速度を築えあらしむ

慰問展入選發表

ること

なった。
右について
市木

軍人獲勝范閣運動石筆の一つとし

なる社工管学を前に「おが

問題念の低調が指摘されて検査場 に姿を現はし我が見、わが弟の睛

に引比べて家庭では著しく時

身子外六名▲二等(人形)

民《立人形二人》 受山湖智安

Œ

海

0

學文雄(繪) 李無影(住)

薬門事の時に経

ネからご人に掲載します。 定小説『海への夢』を、け で内板の夕刊に載せてゐ

大家の話を聞き、自分の妻や娘の

医学博士 安田書

京城旭町二(三新春町上)

台灣包

**欽**造技術講習會

器電

へ 春季大祭館で國及宣揚、五殿駅 加藤神祠春李大祭 出版祭町、加藤神嗣では廿四日 健かな兄童へ一意動を開い概念が 府が愛護運動

題歌、母子保御の徹底を調るため 決戦下における出生増加、結婚の

**\$** 



機関査として二千五百餘名の人口副否員を 機動員して世際活動、札の賭村、人口の概 一番に實施するが、所では目下これが戦



## 一日午前零時 洗品商

人口調査は五月一日午前零時現在を期し全

見の無料の原相談(各階保留で) 信賞必罰主義を强化 

関部長は最近の響繁行政、撃撃部・
廿四日午前十一時部長霊で行った。 欧席して響行、第一回の入所生はなり、開明式は午前十時大陽局長 事員達成所として開所することと

新、都市疎開など記者 図の智問に 一 對し例を上げて暗つた、まつ「最 面の自職と風紀問題、都市防備態 布事件で簡節せんとして失敗した 職を頭化してあると、さきに続 人であらうが、なほ一層図省して 見ても所民が緊張してゐるとはい 響者が六萬に上るといふがこれを 

期す

婦人の誘掖

に張り出すことへなった

について述べ午後一時過ぎ會見を でなく一般の風紀についても敵響撃としても享樂面の女ばかり 期するため日帰朝鮮木部では各道

い必勝生活指導主事を聞き、各府

して訓示を述べ次いで京城支部一合分會長安倍少將が鮮令を交付

同三時敬會した

街の献金隊目白押し

作業に挺身してある。

されたものの内五十一四四十六歳

酒配分協議會

『あいつは帰鹿と』

地區巡測配給組合では昭和十

會員百計名登集して、鍾路區跡

運輸、工物の各部門にわたる従事 京城地方道島で は従來中 央交通 成所の開所式 從事員養成所内の麻修部で運輸 京城交通從事員養 本來の傾命完遂へ延身する 各所部語の職員を出命、日帰曹々財政の許す限り立派な人物を選び 郷軍昌慶分 在那軍人會與 交響氏を指導主事に迎へる一方

の百分の一総額二子國を開出し本職及び各區及所職員一同俸給

ルヨさんは先日から洋親見答生や一同日中區で圏町二三佐々間へ

江華一府三郡の家庭用並に霊跡用八月)の管内仁川舟、宮川、金浦、 八四週年度第三期分(自江月、至

した長男の原度に不渝を持つて

**潜風配分 協議舎を 廿一日午後** 

從事員の大衛急速養成の必要から一新被足することになったがその殺 員の短期義成と再教育を行うて來一南町、仁義町、鷹宮町の四分會を たが現下の輸送の重曹元後のため一封って一丸とし昌屋分割を結成、 會の發會式略四一目、 **尽城府第一回勤勞報國際金森征**]

に翻破し割ま店としたが、それが

い問題で、一種料理店を三分の一

事に奉仕作業を行ひその間に給與 郎君は「一〇名は、一ヶ月間、軍工 茶敷の佃煮

網額八百四十一國を海里航空機関

ってある

貯蓄增强要綱

役員に配布 近く各町會

意し牧山端末氏に脚本を依頼『李

家庭用四點、業務用六部分被上法 熱務者曾養室で開催し左の通り決

李栗谷母堂を劇化

金村彦形氏は曹昌四十三名の藩金

日本基督教朝鮮同信舊京城集會、

観響にと否託した 傳ひ、そのお曜金百圓を軍人接

糖小匙一杯を翻味料さ、みぢん切 林料ー茶器、生姜少々、醤油、砂 第2人、茶般は開いた第0まま水 四回分集めたら醤油大匙三杯、砂 東を切り急強(一食人位)に三、 作資金として廿四日鎌路者に各託

関ノ今回郷一浦五兵として召集されました。今後の京役場がはというなるのでせらか。 家庭問答 (配置)生

記述関係者を招集してこれが周知

新堂町二三六金城思雄君(こ)は十 大然位と診断され版化

答。今後の長後開家は召集前

のを粉にし、粉魚、茶酸粉とよくか | 歩で摺り、みかんの皮は乾したも は番茶)顔の皆(いわしの頭等) ひまずから家族敷に限じて少くと一なくてはなりません もう一度簡単にゆり粉にします、 義者に三、四回分を集め、乾かし 食物は一人一食一〇気位で間に合 みかんの皮、鯛、作り方は茶敷を ふりかけ食 茶(また もので風味をつけます ものです、それから町豊盛で配給 松料=茶般、人参、ほうれん草、 て有事の際に役立をせるやうにし もので風味をつけます 茶穀のかき揚げ

有合せのもので結構です、煎茶の さくらえび、鰮)等お野菜は何でも

員の基本給料増加支給に関する法 稅務懇談會

三、かさばらなくて特ち歩きに軽

空襲時の防衛食

至を被担して防一時間が低くりませんというない。 平素の用意を怠るな

食棚の備への要はないなどとのん 速ひであります、たとへ駆機の空 さんちへを持つことは大きたちへ

のも製作する見込である

しなくてはなりません、主食物で一も一一三日分は用意しておきをい したら一人一意分としては大阪三 -四〇処位で結構です、また副

四、榮養があつて回いもの

茶酸を一たん乾かし野菜、さくら

哲中語數 注目李

(イ) 主食となる食品

どん、乾パン、切干豬、焼いも炒り米、麥ごがし、煎豆、干ラ

とよりありません(京城兵部部)

神力と活泼な活動力を以て事に

去る日降り出した雨に濡れな

なものを選んで挑音などおさめ、

しておかねばなりません、そして

以上のやうな防衛食の中から漁省

F、夏市、暖草のり、青のり、貝柱 酸塩野菜、魚具佃煮、鰹節、煮

院子ば、連豆腐、砂り豆、味噌 の子魚、干明太魚、干餅、貝類

民主の施策をたてられてある

さと答べた、ところが〇〇業

ぐそこの〇〇栗局に歌めてるま

を育年が言おはひ りなさい』と、まで送ります、といふ、それで まる日曜り出した側に続れな、同に曲で資金で来ても、自分のから歩いてあると、過つかけ来、はに繭のうともしないで、お記

お踊りしたが、到頭四五町先の

あることは申すまでもありませ

やうに考へられる向があります」べられるもの

雨

ところで防衛食と申し至すと何

一、火を用ひなくてもそのまく

またカビの生へないもの 一、貯蔵がきを出がつかず隔らず

(ロ) 副食物として

2

たちは極機が來るなら來てみ

技家の食糧を確保しておかねばな

規の取扱方法を周知徹底せしめる

流行病の野延期に入り屋内外の清 編にいちだんの注意が望まれると 城東區淸掃日割

沙厅、金湖、玉水町▲世日新堂 全部▲廿八日杏堂、雕修、馬場 ▲四月廿七日上、下往十里名町 き城東艦察者では次の日割で寄奉 る道理球線ではこと十九年度

撃まった

タイヒスト採用

中橋幸馬

**山各町全部(雨天の際は順次最** 國民貯蓄増强方策型綱を施定しこ

際との動形、大衆大臣の談話、イ を小册子に記論しる言面関係員に 愛送したが、これが密 | 頭として が末端遺迹を聞るため方策型調 長等の指導層

の解説等を機能した小朋

連日快橋の撮影を隠行して

第四と労働者権、発徒等を狙ふる 子を目下印刷中である。簡第三、 を組み各選の巨際部、内地各部府 來朝、印度國民軍陸續前線へ、二 ース第一百三號内容は次の進り 質羽焼英麗凱旋す、比國アキノ氏

天然症發生形內城東區

手製品及び脳選作品、鮮肉女風校 墨度会員を参加せしめて劃期的 な行事を意義あらじめたいと思 東大門區新設町三五四乙二三金川 火の玉の赤賊を遊應した軍事援職|族を守らうと東大門署を訪れ感浪 生計を変 務の<br />
傍り大衆食堂でも經營し、<br />
そ の收益金でお園を贈った男士の家

を感激せしめたともに感謝の懸賞を吐露、一同

なほ飯食店開業は許可せぬ方針 ので同場では目下順重考慮中で

かけぬやうにしませうと、軍人獲 一緒の家を避って前続将兵に心配を一て作成したご女の漢心こもる散問 高女ではこの日習休みを利用して 織を盛りあげて始まったが、郷礁 生徒一同が諮問文や駁問載を集め さい。と朝鮮軍豪國部に散納した 徒が強へて

・前級将兵に

送って下 帖四十五册を河東先生ほか代表生 挨拶廻り

大前に池田府井、蘇川警長を初め

**腰唇もきちんとしてゐるし、同僚** 

は欠との約束を全く無にしてゐる。彼女

顕在の二番娘で相勤の妹にあたる のは、林顕柱たゞ二人だけでなく

その崔大泳に興味を持つてゐる と答べはしたものと、相動は忘

銓書資

器工業

會

あるのは、水

との交際もよかった。たい極って一兄が、気になってないなかった。

增

勝

**贬淀川製調所行** 

当所にカエ専株式資祉

医学博士 交仁柱

文 夕 末 敦岩町三仙橋電停購 竜東 ⑤ 1657 X光線、A院隨息

大時からの1回に買り公園室で遊 祈願祭を執行、午後一時からのと 官民多數學別して星軍の武型長久一 州では先づ午前十時から仁川神社 **連指願運動が展開したがこの日**[] 廿四日を期して全統一郷に軍人選

については職

として口を割 度でその 観びだけのご

置し、町會と府區との有機的運業 今回各町會に将順託を一名づく 繁は高々重要であるので、府では 告ぐるに従ひ、町會と府區との運 各町會に府 **嘱託を配置** とばかり在郷軍人會歌を齊唱、 程沼大佐の訓示並と累木鍾路

を一層緊密化して町政の刷新履化 一元的防衞へ

東亜十億の職力を成力増展に活集

その噂は彼内に遊がり ~ 生水にしても水に入らなかつたことから

町の入口で、何か世際道具らしいともあるし、ある日の夕方には本

事務所あり

ものを買って聞る電大派の姿を見

金属代替特殊銘板

推獎

立話をしてゐるほど立ち會つべこ

彼が中華二年の館時駆役から漢江

嫌ひは、子供の頃からのことで、

第子は、既に一度、兄と一緒に歩

求貸倉鹽縣

在仁華僑の中華勤

共に戦撃を閉場し、生産増加に

泰隊結成式

日婦が各地に指導主事を任命 名を集め伊坂署長司曹のもとに防 鎌路署では廿四日午後一時、歌養 著と全殿に飛げて 起上った 在 して信職米英を吸指はずんばや

仁華僑の中華勤勞仕奉際結成式は

感勢の認識を徹底せしめるととも 施裁のもさに一元化された新防衛 宮軍務打合曾を開き、警察署長の に空の護りの完璧を闘る種々の問 其百年中時から二川・藤小

題について開意なき意見を交はし 大に墨行し、終了後縁旗を先頭に **隊員の勝ち扱く意系も高らかに盛**官民 多数参加の下に四百五十名 學校々延に於て王陸劉領事、田中 是面景、藤川州祭祭岩長其他日華

歩武堂々と市中行鑑して仁川神社

樂草縣

五年來は銀行に勤めて、たゞ金を

大衆を呼び出すため、闘理集へ廻まれてめたことに気がついて、遊れてめたことに気がついて、遊れの場子から懸

内地松竹がこの世と『水足言る 部の動めてゐる風夜へ電話 朝鮮式田薬品際式 さん夢集

神が一名が見ばれる。 耳鼻咽喉科 童学博士 韓基澤 東城公平町三九 春光671

朝鮮凌野カーリット

行南方共榮魁大陸 日本特殊銘板工業株式會社院推過數





















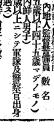


















经爆工	者ハ自筆	其他每日		富分間毎	<b>衛日時及</b>
直接出頭	<b>薩摩書</b>	<b> 『工場  第</b> 第	十日及十	7 一日及	場所
ブコト	理学ノ上	課ニ於テ平	一日 京城	百日 咸縣	
	1	安付ヲナス	製業紹介所	緊業紹介所	
-					-







での とこと から 村 会 剛 山 二子谷 山 スで 歌 祭 祭 山

大大 ・ 一丁目

電光 八八五 電光 四二三 **10** 四十九病院

完成 京城市川町四 京城市川町四 京城市川町四 京城市川町四 京城市川町四 京城市川町四

明本, 一年, 一年, 一年, 大大名美国农产工公司,从大人名美国农产工公司,从一年, 一年, 大大名美国农产工公司,从大人名美国农产工公司,从大人名美国农产工公司,从大人名美国农产工公司,